

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	平成30年度第3回富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成31年2月21日(木) 13時30分～15時00分
3 開催場所	富津市役所5階 504会議室
4 審議等事項	健康ふつつ21(第二次)中間評価及び見直し(案)について
5 出席者名	小泉義行会長、田中治実副会長、岡根茂委員、熊切篤委員、庄司憲弘委員、渡辺初美委員、大野泰代委員、永井敏子委員、藤平健司委員、野田秀平委員、平野弁一委員、井戸義信委員、渡邊まさ子委員 島津健康福祉部長、下間健康づくり課長、栗本健康づくり課長補佐、鹿島健康づくり係長、佐藤主査、岡本主査、圓川主査、吉村主任主事
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人
9 所管課	健康福祉部健康づくり課
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第3回富津市健康づくり推進協議会会議録

	発言内容
鹿島係長	<ul style="list-style-type: none"> ・開会の宣言 <p>本日の会議の内容は、富津市情報公開条例第23条の規定により、公開となる。傍聴人はいない。</p> <p>14名の委員のうち、出席者13名で過半数を超えているため、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第2項の規定により会議は成立する。</p>
小泉会長	<ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶
鹿島係長	<ul style="list-style-type: none"> ・富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となる。
小泉議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に入る前に、会議録署名委員に、大野 泰代委員、井戸 義信委員の二方を指名する。 ・次第3の議題、「健康ふつつ21（第二次）中間評価及び見直し(案)について」、事務局の説明を求めます。
栗本課長補佐	<p>健康ふつつ21（第二次）中間評価・見直し(案)について、前回の第2回の協議会で【素案】を協議し、修正したものを、</p>

パブリックコメントの前に委員皆に送付した。その修正内容は、本日配布の一覧表のとおり。あらためて、案に基づき説明する。

冊子の 10 ページ「(2) 目標値の変更」で、がん検診の受診率を「40%から増加」との目標としたが、具体的な数字で目標値を定めた方が良いとの意見で、それぞれの検診項目ごとに、現状値から 1.5 倍とする目標値を定めた。

同様に、循環器疾患の②高血圧の改善、次の糖尿病の③と④、次の栄養・食生活、11 ページの飲酒についても、目標を「減少」としていたところをそれぞれ具体的な数値に修正した。

その下の、歯・口腔の健康の②「3 歳児で虫歯のない子どもの割合の増加」で「現状値が 82.9%となっているが、それより低い目標値 80%の設定はいかがか」という指摘に対して、現状値より高い目標値 83%とした。また、「12 歳児のひとり平均むし歯数の減少」の目標値を現状維持から 0.6 歯以下とした。

ここに関連して、18 ページ、達成度をはかる指標と目標値で、②の乳幼児・学童期の虫歯のない子供の増加の「12 歳児のひとり平均むし歯数の減少」のところで、右側に参考値、

すぐ上と同じになっていたところを（26 ページの別表にある数値と異なっているという指摘に対して、）数値を訂正した。

次に、11 ページに戻り、下の「こころの健康」の目標値についても、数字が大きかった 27 年単年を基準にして減少とするのではなく、県の設定方法等を参考に 3 か年の平均からの減少とすべきでは、との意見に対して、その通り、「27 年から 29 年の 3 か年の平均 21.4 と比べて 30%以上減少の 15.0」とした。

次に、13 ページ。グラフの表し方について、修正した。13 ページ、図 1 では全国と富津市の別。また 20 ページ、ここでは男女の別、続いて 21 ページのグラフでは全国、千葉県、富津市の別がわかりにくいという指摘に対して、わかりやすいよう修正した。

次に、再度 13 ページ。妊娠中の喫煙率の減少の項目で、「喫煙率が平成 28 年度から平成 29 年度に減少したのは妊娠届けの際の保健指導の効果である」とした記述について、29 年度の妊娠届けの方が保健指導を受け、その効果であるとは限らないこと、また、比較して「2.9%の減少」という標記は、減少の数字の標記は「ポイント」を使用するとの指摘あり、それぞれ記述を削除した。

次に 23 ページ。こころの健康の、「(3) 対策」の市の取組について、具体的に記述する方が良いと言う意見に対して、表の記述のように修正した。

次に、別表 26 ページの下の方、「こころの、自殺者の減少」のところ、人口 10 万人あたりということで、表中にあった％を省いた。また、市の現状値、平成 29 年のところで、15.23 を、人数が平成 28 年と同じく 10 人となっており、計算が違うのではないかとの指摘に対して、確認の結果、7 人が正しく、訂正した。

また、巻末等に健康増進に関する事ばかりでなく、イベント等の情報や、このようなことをすると改善しますというような情報・提案も掲載したらどうかとの意見について、今回は中間評価であること、また、今年度中の作成という中で日程的に掲載内容の精査が困難であるため、平成 32 年度の第三次計画策定の時に参考とする事とした。

27 ページの別表 2 には、項目ごとに修正した目標を載せた。

以上がパブリックコメントを行う前の修正内容となる。

これを本年 1 月 4 日から 18 日までの 2 週間、パブリックコメントを行った結果、1 名から意見があった。

その内容は、表紙の裏、目次の項目 5 (1) 2) ①環器疾

患は、循環器疾患と思われる、ということ、また、慢性腎臓病 CKD の中に、循環器疾患と糖尿病が含まれるという分類でよろしいか？ということだった。

これに対して、一点目、目次の項目 5 (1) 2) ①は循環器疾患が正しい標記であり、明らかに脱字だったため訂正した。

二点目は、「慢性腎臓病 CKD の中に、循環器疾患と糖尿病が含まれるという分類でよろしいか」、とのことで、これについては、健康ふっつ 2 1 (第二次) では、慢性腎臓病 CKD の項目で、CKD は生活習慣の改善や治療によって予防可能な疾患と位置づけている。循環器疾患や糖尿病の危険因子等の管理に対する取組を行うことで CKD の予防につながるとした分類とし、それに基づいた中間評価であるため、これに対する修正は行わなかった。

以上で、今回の(案)となっている。協議、検討をお願いしたい。

小泉議長

事務局の説明が終わり、これより質疑に入る。
質問、意見等を願いたい。

<p>下間課長</p>	<p>追加したい。23 ページ ころの健康の(3)対策、市の取組で、右の欄、市の関係各課の記載があるが、「社会福祉課」は平成 31 年度から「福祉の窓口課」と名称が変わる。同様に「自殺予防の推進と人材育成の促進」、24 ページの「一人で悩みを抱えず互いに見守り支え合う体制の充実」についても社会福祉課から「福祉の窓口課」に変わるため、修正を了解していただきたい。</p>
<p>島津部長</p>	<p>補足する。社会福祉課自体は残るが、福祉の窓口課を新設する。社会福祉課に今までの生活保護と日赤関係がそのまま残るが、障がい者福祉の関係がこの福祉の窓口課、それと、DV、児童虐待、それから高齢者虐待と障がい者虐待などの対応を福祉の窓口課で行い、一元的に福祉の相談窓口として 4 月からスタートする。</p> <p>現在、社会福祉課は 1 階の北口に介護福祉課と並んでいるが、4 月からは 2 階のフロアに、社会福祉課、福祉の窓口課、介護福祉課と、その横に今までどおり子育て支援課、健康づくり課、とひとつのフロアにまとまる。相談や手続きが一元化できる体制をとっていく。</p>

<p>渡邊委員</p>	<p>今の説明については、本文に盛り込まれるのか。この報告書が市民の目に入ったときに、現在のシステムとは変わっている。報告書の中に、最後に注釈をつけるなり、別のものを差し込むなどして、31年度からはこうなっているなどといった説明文が入るのか。</p> <p>実際に手に取るのは31年度になるので、別表をつけるなど、また、DVに関しては本文では触れてないので、それについても市民が相談しやすくなっている、改善されているといったアピールをするような付則があるといいと思う。おそらく、これは3月で決定となるので現状はこれでよいと思うが、いかがか。</p>
<p>島津部長</p>	<p>計画期間が3年あるので、渡邊委員からの意見のとおり、何か注釈をつけたいと思う。機構改革で体制が変わることは、3月の「広報ふっつ」で案内するが、細かいところまでは出てこないかと思う。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>DVの問題とか、今回触れていないので、尚更、新しく窓口を設けて、ということのアピールできればと思う。</p>

島津部長	<p>子育て支援課で、DVと虐待に対応する計画を策定している。その中で、計画書だけでなく、一般市民が手にとりやすい概要版を作成し、市民に周知するということを考えている。</p> <p>また、区長回覧などで、福祉の窓口課についての案内の周知を考えている。</p>
小泉議長	<p>他にいかがか。</p>
野田委員	<p>パブコメの意見で、慢性腎臓病のことで、循環器疾患と糖尿病が適切かどうかという話があったが、「健康ふつつ2 1(第二次)」の計画の中ではこうなっているので、それはいいと思うが、そういわれると、書きぶりがいまひとつよろしくないと思う。</p> <p>慢性腎臓病に大きく影響する循環器疾患でいちばん大事なものは血圧、あとは血管の障害というところで、コレステロール、脂質異常症などが大事になってくるとは思うが、そこは、本文のほうで先に述べ、脳血管疾患と虚血性心疾患というのは、CKDの中で、循環器疾患の中には入るが、これを最初に書かれるとメインのような感じになってしまうため、最初に「高血圧の改善は」というところから始めていただきたい。</p>

<p>田中副会長</p>	<p>脳血管疾患と虚血性心疾患についてを後ろに持っていくと、自然に理解がされるのではないかと思います。4 ページ 「①循環器疾患」の中の最初の3段落を、結びの段落の前に持ってきてはどうか。接続詞は工夫していただきたい。</p> <p>田中先生はいかがか。</p> <p>確かに中間評価の報告書だけを見ると、CKD でいきなり循環器疾患とくると、最初に説明もあるが、よく読んでみると、循環器疾患の中で腎臓病のことを一行も書いていない。健康ふつつ21の計画書を読むと、CKDの基本的な考え方に「循環器疾患（高血圧）、糖尿病等の危険因子の管理が重要です。」と書いてあるから、中間評価についても、4 ページ、2) 慢性腎臓病（CKD）でいきなり循環器疾患といれないで、大元であるCKDの予防の為には循環器疾患・糖尿病のコントロールが大事であると説明を入れて、循環器疾患につづけば読みやすいのかと思う。</p> <p>目次は中身を見れば通じると思うが、いかがか。</p> <p>具体的に、健康ふつつ21（第二次）の25 ページで、全国的にそうだが特に富津は透析が多いということでCKD対策が</p>
--------------	--

重点項目と書いてある。「基本的な考え方」の「発症予防」に、「CKD 発症予防において循環器疾患（高血圧）、糖尿病等の危険因子の管理が重要です。」と書かれている。こういった内容を「健康ふつつ2 1（第二次）中間評価及び見直し(案)」にも入れたほうがよいかと思う。確かに野田先生の言うとおりに、脳血管疾患は循環器疾患でも別のルートになってしまうので、後にするよう順番を替えればよいと思う。

野田委員

今の田中先生の話をもとめると、本文4ページについて、「2）慢性腎臓病（CKD）」の説明として「健康ふつつ2 1（第二次）」計画書の25ページより「CKD 発症予防において循環器疾患（高血圧）、糖尿病等の危険因子の管理が重要です。」の一文を、今回の中間評価の報告の4ページ「2）慢性腎臓病（CKD）」の下に挿入する。また、①循環器疾患の本文の構成を見直し、前段3段落を結びの1段落の前に移動し、4段落目の始まりの「次に」を削除する。とすると、これだけを見た人にも分かりやすいと思う。我々はこのように思う。我々はこういうものだと思いき、違和感はなかったが、そうやってみると確かに違和感があるので、そのように修正するとよいと思う。

下間課長	はい。
小泉議長	<p>他にいかがか。</p> <p>それでは、他にないようなので、以上で議題を終了とする。</p> <p>次に、次第4 その他にて、委員の皆様、いかがか。</p>
平野委員	<p>武田邦彦という科学者の Youtube を見て気になったことについて、いくつか質問したい。批判の多い方なのでそれも含めて聞いてほしい。</p> <p>現在、厚労省が定める血圧の基準が 135mmHg ということだが、武田氏は、血圧はもっと高い方がよいのではないか、という話があった。血圧が低いと体の末梢まで血液が行き渡らないから、がんや認知症を発症するのではないかと。特にわれわれの年代になると認知症と聞くと、そうならないでほしいと思っているところ。</p> <p>それから、塩分の問題について。塩分は控えめが良く、減塩食が推奨されているが、ちょっと違うのじゃないかという話があった。日本人は塩分を多くとっても血圧は上がらないという話。長野県は男性の1日の塩分摂取量が全国で2位の12.5g、女性は11.1gですが、日本一の長寿の県とされている。</p>

5万年も前から日本人は地元のもを食べて生活しているから、塩分は気にしなくて良いのではないかという論。

最後に、これは特にわれわれ農家にとって大変興味深い問題。最近炭水化物を忌避する傾向があるが、米はあまりよろしくないとするのは、米を作っている立場から言うるとんでもない世の中になってきたというところ。武田先生がある栄養士になぜ米が害をなすか聞くと、昔の人と同じ量の米を食べて糖尿病や肥満が多くなっている、だから米を少なくした方がよいのではないかというのは、昔に比べて今は家事にしても労働にしても、カロリー消費量が少なくなっている、だから米が悪いのではなくカロリーの摂りすぎで、食べすぎだ、もっと減らせばよいのだ、という論理だった。そういった中で、コレステロールの問題があり、悪玉コレステロールという言葉は適切でない、これは必須コレステロールだ、ともあった。

こういった事について、わかっているところがあったら教えていただきたい。

小泉議長

まず血圧について、野田委員にお願いしたい。

野田委員	<p>血圧は、結論から申し上げますと、保健所としては低ければ低いほど良いと答えている。80mmHg あれば日常の生活に大きな問題がない。ただし、血圧の高い人がいきなり 80mmHg になるのは問題。もともと低い人は、80mmHg あれば一般的な生活は十分営めるということ。大体 100mmHg ぐらいが健康的とされている。</p> <p>血圧の高いほうが血の巡りが良くなるという話があったが、それはまったく逆。末梢の血の巡りが悪いから血圧が高くなる。運動したりして、血流が良くなると、身体がぼかぼかする、そうすると抹消の血の巡りが良くなって血圧が下がるということ。</p>
平野委員	<p>昔は血圧が年齢かける 90 が理想的といわれていました。先生のことばから、100mmHg あれば大丈夫ということですか。</p>
野田委員	<p>高い人が急に減らす、というのは良くない。低いままで維持する、その方法は減塩、運動、カロリー制限、体重適正化を保つなどで血圧を維持していくということが勧められるということ。</p>

平野委員	<p>血圧が低いと末梢神経までうまく血液がまわらなくて、がんや認知症への関連はあるのか。</p>
野田委員	<p>私の知る限りでは、がんと血圧の関係については良いとか悪いということはない。認知症に関しては、血圧が高いと血管が傷んで、虚血性の脳梗塞、脳出血が起こりやすいということがある。微小な脳出血や脳梗塞が起きて、血管性の認知症等が出てくる。血圧高い方が悪いというのは明らか。</p>
平野委員	<p>塩分に関してはどうか。</p>
野田委員	<p>塩分に関しては、進化の過程で、塩は貴重なので人間の体は塩分を溜め込むようになっている。塩分を制限することで血圧が下がる人とそうでない人がいるというのは事実です。しかし、保健所としては、今後ゲノム医療で塩分に反応する人・反応しない人が簡単に分かるような世の中になれば塩分制限をする人・しない人に区別する可能性はあるが、今は一律に塩分を控えるという指導をしている。</p>
平野委員	<p>武田氏は、日本人の約8割は塩分に対して反応しなくて良い</p>

	<p>という話をしているが、その辺はいかがか。</p>
野田委員	<p>8割はないかと思う。以外と反応する人が多かったと思うが、私は循環器内科の専門ではなく、知識が曖昧だが。</p>
平野委員	<p>最後、炭水化物についてはどうか。</p>
野田委員	<p>それはかなりあたっていると思う。昔に比べて身体を使うことが少なくなったというのがいちばん大きな原因。特に米が悪いということではない。逆に、パン食より米のほうが塩分の摂取量が少なくなる。パンは作るときに塩が必要だが、米はそういうことがないので、漬物を食べ過ぎなければ、保健所は米を推奨とまではいかないが、良しと考えている。</p>
田中副会長	<p>武田氏について検索してみたが、テレビで言っていることはスポンサーに忖度しているから事実とは限らず、不都合なことは隠していると思う。Youtubeについても、フォロワーが多いと、人気が出るような内容にしないといけないので、当然不都合なことは言わないかと思う。何を信じるかということ、健康に限ったことではないが、統計や過去のデータ。</p>

	<p>我々(医師)としては、日本に限らず世界的な医学・健康に関するデータ、ひとりの先生が言うことではなく、統計に近いようなビッグデータで分析したデータを重要視する考え方が大事かと思う。武田氏が言うことももっともらしいが、根拠は無いのではないかという気がする。医学の論文も捏造事件もあるから、何が正しいかも分かりかねるが。</p> <p>特定健診は、ビッグデータの分析。特定健診を受けて中央に集まって分析をして、フィードバックされると思う。</p>
小泉議長	<p>結論は、特定健診や個々の健診を受けることは非常に大切ということ。</p> <p>他はよろしいか。では、事務局。</p>
下間課長	<p>本日の意見を反映し、最終の修正とする。</p> <p>今回の意見の中で、4ページ、23,24ページを修正し、完成とさせていただきます。</p> <p>今年度はこの会議で終了となる。こちらの計画については、今後庁内の会議を経て完成とし、皆様にお送りする。</p> <p>また、31年度も会議を予定している。よろしく願いしたい。</p>

小泉議長	<p>では、今日の意見を反映したものに変更するという事 でよろしくお願ひしたい。</p> <p>以上をもつて、平成30年度 第3回 富津市健康づくり推進 協議会会議を終了とする。</p>
------	---